

◇ 2022 年度事業・活動報告

I. 2022 年度事業活動報告

1. 寄付の造成

・ 福祉たすけあい基金、賛助会員募集に加え、「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援成」プログラム実施に伴う寄付による寄付造成を行いました。

財団設立 9 年目を迎え、設立時からの寄付の総額は 3 月末現在で 2 億円超え、231,974,239 円となっています。

・ 生活クラブ組合員への情報発信、生活クラブ共済たすけあい委員会活動との連携により、福祉たすけあい基金参加者拡大をすすめました。2022 年 4 月から 2023 年 3 月までに 535 人の新規取組みがあり、3 月末の参加者は 11,069 人で期首より参加人数は 35 人の増加となっています。

(1) 福祉たすけあい基金<生活クラブ組合員寄付>

・ 年間寄付額は 13,421,100 円でした (予算比 103.2%・前年比 104.2%)。

・ 組合員の福祉たすけあい基金寄付参加者データ

2020 年 4 月期首 11,034 人

3 月末取組人数 11,069 人

① 福祉たすけあい基金<生活クラブ組合員寄付>

地域生協		2022年度期首 (3月末)		3月末			当月 増減	期首 増減	組合員数 3月末
		参加者数	参加率	新規	参加者数	参加率			
横浜北	コモンズ小計	1,131	13.2%	0	1,117	13.1%	-8	-14	8,551
	デポー小計	1,141	11.7%	0	1,137	11.5%	-8	-4	9,909
	総合計	2,272	12.4%	0	2,254	12.2%	-16	-18	18,460
横浜 みなみ	コモンズ小計	1,948	12.4%	2	1,988	12.8%	-2	40	15,576
	デポー小計	496	7.2%	3	534	7.4%	2	38	7,171
	総合計	2,444	10.8%	5	2,522	11.1%	0	78	22,747
かわさき	コモンズ小計	1,288	14.7%	2	1,276	14.4%	-2	-12	8,880
	デポー小計	468	11.5%	1	447	10.8%	-6	-21	4,157
	総合計	1,756	13.7%	3	1,723	13.2%	-8	-33	13,037
湘南	コモンズ小計	2,121	14.0%	1	2,133	13.9%	-11	12	15,375
	デポー小計	416	8.0%	1	421	7.9%	1	5	5,318
	総合計	2,537	12.5%	2	2,554	12.3%	-10	17	20,693
さがみ	コモンズ小計	1,729	20.5%	1	1,729	20.7%	-9	0	8,359
	デポー小計	296	12.2%	0	287	11.4%	0	-9	2,507
	総合計	2,025	18.7%	1	2,016	18.6%	-9	-9	10,866
全体	コモンズ小計	8,217	14.5%	6	8,243	14.5%	-32	26	56,741
	デポー小計	2,817	9.9%	5	2,826	9.7%	-11	9	29,062
	総合計	11,034	13.0%	11	11,069	12.9%	-43	35	85,803

② 参加拡大に向けた活動

福祉たすけあい基金の取組み拡大に向けて、生活クラブと連携して以下に取組みました。

主体	目的	アクション	対象等
生活クラブ 神奈川	参加拡大	年2回のチラシ配布	組合員は全員配布、
		生活困窮者支援カンパと合わせた活動	組合員は全員配布
財団	活動報告	福祉たすけあい基金レポート 年2回（夏・冬号）発行	班戸配組合員全員 ※デポー組合員への配布が課題
		領収書と活動情報・賛助会員依頼書の送付	福祉たすけあい基金取組者。班戸配組合員は配達を通じて送付、デポー組合員は郵送にて配布。
共催	助成団体との交流	贈呈式（16期、17期、18期）	地域生協共済たすけあい委員会、組合員リーダー

③福祉たすけあい基金 月別寄付額

	組合員	一般	合計
4月	1,103,200	55,200	1,158,400
5月	1,106,400	16,200	1,122,600
6月	1,092,100	0	1,092,100
7月	1,078,700	2,400	1,081,100
8月	1,107,900	0	1,107,900
9月	1,096,000	0	1,096,000
10月	1,094,900	2,400	1,097,300
11月	1,109,500	0	1,130,700
12月	1,090,500	21,200	1,109,500
1月	1,109,100	19,400	1,128,500
2月	1,104,600	76,000	1,180,600
3月	1,118,200	17,200	1,135,400
合計	13,211,100	210,000	13,421,100

(2) 福祉たすけあい基金<一般寄付>

月	一般寄付者	一般寄付者内容
4月	55,200	年間登録寄付者（6名、9団体）
5月	16,200	年間登録寄付者（3名）、助成団体からの寄付（2団体）、個人（1名）
6月	0	
7月	2,400	個人（2名）
8月	0	
9月	0	
10月	2,400	助成団体からの寄付（2団体）
11月	0	

12月	21,200	助成団体からの寄付（1団体）、個人（1名）
1月	19,400	個人（3名）
2月	76,000	助成団体からの寄付（1団体）、個人（9名）
3月	17,200	助成団体からの寄付（4団体）、個人（1名）
合計	210,000	

- ① 一般寄付者は、財団の前身である「たすけあい未来ファンド」からの継続寄付者、個人寄付者、助成団体からの寄付（一口1,200円以上で依頼／取組は任意）で構成されています。

<助成団体からの寄付>

・神奈川フードバンク・プラス	（第16期助成団体）	2,400円
・働くしあわせプロジェクト	（第18期助成団体）	6,000円
・川和日本語教室	（第18期助成団体）	1,200円
・遊びの庭	（第17期助成団体）	1,200円
・フードバンク浜っ子南	（第17期助成団体）	1,200円
・川和日本語教室	（第18期助成団体）	1,200円
・ふじぼけ	（第19期助成団体）	1,200円
・Thoughtful Gift	（第19期助成団体）	1,200円
・逗子ゼロ・ウエイストの会	（第18期助成団体）	10,000円
・リトルハブホーム	（第19期助成団体）	1,200円
・須賀の寺子屋	（第14期助成団体）	2,400円
合計		29,200円

(3) 遺贈・終活寄付

① 子ども貧困に立ち向かう応援基金（終活寄付プログラム）

- ・2022度は18名、1団体より、30.5万円の寄付がありました。

② 冠基金（遺贈寄付プログラム）

- ・11月に1名より150万円の遺贈寄付がありました。
- ・遺贈寄付プログラム「鈴木健一メモリアル基金」（仮称）を11月理事会で設置しました。

(4) オーダーメイド寄付

① JA横浜 子どもの未来支援助成

- ・10月にJA横浜から11,800,000円の寄付を受けました。

② ユーコープ 子ども食堂・地域食堂応援助成

- ・11月にユーコープ から235万円の寄付を受けました。

③ 生活クラブソーシャルインクルーシブ助成

- ・3月に生活クラブ生協から6,772,670円の寄付を受けました。

(5) 財団運営費への寄付

- ・生活クラブ生協からの法人寄付（250万）が4月にありました。

(6) 賛助会費

- ・2022年度は15名、2団体の新規会員の拡大がありました。
- ・個人会費244,000円（65名）、団体会費470,000円（23団体）の納入がありました。

i. 会員の状況

区分	人数・団体数	納入数
個人会員	146 人	65 人
法人・団体会員	33 団体	23 団体

ii. 個人会費（納入分）・・・・・・・・個人情報により割愛

iii. 団体会費（納入分）

団体名	金額
(株)オルタフーズ	60,000
(株)ウエルライフ	30,000
英君酒造(株)	10,000
共生食品(株)	10,000
(株)マルモ青木味噌醤油醸造所	50,000
(株)秋川牧園	10,000
オルタスクエア(株)	50,000
(株)ニッコー	10,000
(株)カジノヤ	10,000
(株)双立デザイン設計事務所	10,000
新生酪農株式会社	10,000
神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会	10,000
(特非) 参加型システム研究所	10,000
(株)創土社	10,000
(財) 神奈川県地域労働文化事業団	10,000
(特非) はだのあすなろ会	10,000
(一社) 川崎地方自治研究センター	10,000
(公社) 神奈川地方自治研究センター	10,000
(特非) Fun Place39	10,000
ワーカーズ・コレクティブあんず	10,000
(公財) 横浜 YMCA	10,000
横浜みなみ生活クラブ生活協同組合	10,000
クイック CX0 株式会社	100,000

2. 事業報告

1) 助成事業（公益目的事業1）

プログラムの概要	第18期 福祉たすけあい 助成（通常型）	子どもの貧困に 立ち向かう市民 活動応援助成 （学び支援）	ユーコープ 子ども食堂・地域 食堂応援助成	JA横浜 子どもの未来応 援助成	生活クラブ ソーシャルイン クルーシブ助成	第19期 福祉たすけあい助成 （スタート助成）
助成原資	400万円	120万円	200万円	1000万円	7,334,151円	500万円
募集期間	4/18～5/20	6/1～6/20	10/6～10/20	11/21～12/26	1/11～1/31	11/7～12/9
助成月	2022年10月	2022年10月	2022年11月	2023年4月	2023年4月	2023年4月
申請団体	21団体	8団体	30団体	42団体	84団体	20団体
助成団体	17団体	8団体	30団体	42団体	81団体	19団体
助成額	400万円	787,132円	200万円	1000万円	7,334,151円	470万円

(1) 第18期並びに第19期福祉たすけあい基金助成を取り組みました。

- 福祉たすけあい基金助成は市民基金を代表するプログラムです。組合員リーダーの選考への参画、贈呈式の開催や地域生協企画の交流会の実施などを通じて、地域課題の共有を進めています。
- 福祉たすけあい基金のプログラムの特徴は申請団体と事前個別相談を実施していることです。18期・19期とも30を超える団体と事前の面談を行っており、事業計画のみならず、団体のガバナンスや財務などについて意見交換しています。申請に繋がらない団体もありますが、次なるチャレンジに繋がる支援を行っています。

(2) 3つのオーダーメイドプログラムに取り組みました。

i. ユーコープ子ども食堂・地域食堂応援助成

生活協同組合ユーコープのオーダーメイドは、新型コロナ緊急応援助成（2020年）から3年連続の取組みです。2021年、2022年は子ども食堂・地域食堂応援プログラムとして実施しました。

ii. JA横浜子どもの未来支援助成

JA横浜の創立20周年記念事業としてオーダーメイド助成プログラムに取り組みました。プログラムの特徴は「ローカル助成（横浜市限定）であること」「子どもの貧困課題に取り組む団体を対象に、3つの分野（子ども食堂・地域食堂／フードバンク／居場所・学習支援）」で募集したことです。

iii. 生活クラブソーシャルインクルーシブ助成

生活クラブ組合員による「生活困窮者支援カンパ」を原資としたプログラムで、2年連続の取組みです。地域の中で多様な活動を行っている市民団体を応援するプログラムです。ひとつのプログラムとして、最も多くの団体（81団体）に助成しました。

(3) 遺贈・終活寄付を原資としたプログラムに初めて取り組みました。

2019年に生活クラブ運動グループ7団体とともに、ネットワーク組織「遺贈寄付相談・市民ネット」を立ち上げました。市民基金として「子どもの貧困」をテーマに、ひろく終活寄付を呼びかけ、これを原資に「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成（学び場づくり）」に初めて取り組みました。

(4) 生活クラブ組合員活動との連携

i. 贈呈式の開催

	開催日	開催方法	参加者
第16期贈呈式	6月7日	オンライン	55名
第17期贈呈式	9月30日	リアル&オンライン	

		リアル：助成団体、組合員リーダー オンライン：組合員リーダー	55名
第18期贈呈式	12月7日	リアル&オンライン リアル：助成団体、組合員リーダー オンライン：組合員リーダー	41名

ii. 学習会や助成団体訪問企画で地域生協と連携しました。

地域生協	月日	内容
横浜みなみ生活クラブ生協	7月25日	助成団体（横浜市泉区）への訪問企画の共催
湘南生活クラブ生協	8月24日	福祉たすけあい基金学習会
湘南生活クラブ生協	8月29日	理事会研修（市民基金の活動紹介）
横浜北生活クラブ生協	9月27日	福祉たすけあい基金学習会 理事ミーティング（助成団体紹介）
さがみ生活クラブ生協	2月2日	さがみ居場所アソシエーションフォーラム参加

(5) 助成事業に関する広報活動

① 助成募集チラシの作成

第18期・第19期福祉たすけあい基金募集チラシ、子どもの貧困に立ち向かう応援助成募集チラシを作成し、神奈川県内の市民活動サポートセンター39か所に配架の手配をした他、生活クラブ生協ほか関係団体にチラシを配布し広く広報しました。また、メールマガジンによる広報も同時に行いました。

② 公益事業コミュニティサイトのCANPANに助成情報を掲載しました。

(6) 福祉たすけあい基金贈呈式の開催

第16期贈呈式を6月7日（参加者55名）、第17期贈呈式を9月30日（参加者55名）、第18期贈呈式を12月7日（参加者41名）に、オンライン併用で開催しました。リアル参加となった助成団体からの報告者と共済・たすけあい委員の交流が深まりました。

<参考資料> 第1期～第19期申請団体の推移並びに助成金額

助成時期	助成団体数	助成金額（円）	申請団体数	申請金額（約万円）	
第1期	2014年4月助成	9	4,514,100	34	2400
第2期	2015年2月助成	12	3,944,950	17	700
第3期	2015年5月助成	11	3,822,000	20	1084
第4期	2015年8月助成	13	3,389,131	20	1000
第5期	2016年3月助成	6	1,667,633	12	390
第6期	2016年8月助成	7	3,245,769	18	640
第7期	2017年4月助成	10	2,493,230	16	490
第8期	2017年8月助成	13	4,000,000	20	1000
第9期	2018年4月助成	16	4,346,100	24	740
第10期	2018年8月助成	11	3,560,382	19	859
第11期	2019年4月助成	14	4,440,364	15	508
第12期	2019年8月助成	11	3,941,072	13	611
第13期	2020年4月助成	12	3,266,759	13	393

第14期	2020年11月助成	8	3,275,903	10	544
第15期	2021年4月助成	16	5,000,000	17	581
第16期	2021年8月助成	11	3,996,881	11	461
第17期	2022年4月助成	18	4,998,871	21	716
第18期	2022年9月	17	4,000,000	21	999
第19期	2023年4月助成	19	4,700,000	20	642
合計		234	72,603,145	341	14,750

2) 研修・セミナー事業（公益目的事業2）

(1) 居場所ツアーの実施

- ① 地域での居場所づくり活動の応援を目的に、助成団体の先行事例を学ぶ企画として「居場所見学ツアー」に取り組みました。福祉たすけあい基金レポート2022夏号と生活クラブ組合員リーダーからの声かけを通して募集し、8名（10名申し込み2名キャンセル）の参加がありました。居場所づくりに関心を持つ市民の掘り起こしや後押しとなりました。

第1回（9月15日）	オリエンテーション	新横浜オルタナティブ生活館
第2回（9月21日）	NPO法人ふじぼけ（藤沢市）見学	第17期助成団体
第3回（10月5日）	一般社団法人あそびの庭（二宮町）見学	第17期助成団体

<参考> 過去2年間の取組概要

・2020 居場所ツアー 7名参加

第1回（9月9日）	オリエンテーション	新横浜オルタナティブ生活館
第2回（9月30日）	コミュニティカフェ6丁目クラブ（鎌倉市）	第10期助成団体
第3回（10月6日）	ひだまりの家（座間市）見学	第11期・第13期助成団体

・2021 居場所ツアー 3名参加

第1回（9月9日）	オリエンテーション	オンライン開催
第2回（9月30日）	コミュニティカフェ6丁目クラブ（鎌倉市）	第10期助成団体
第3回（11月12日）	ら・ばれっと（茅ヶ崎市）見学	第11期・第13期助成団体

3) 相談・助言事業（公益目的事業3）

(1) 公益社団法人フードバンクの事務局業務の受託

- ① フードバンクかながわの事務局業務受託の取組は5年目となります。広報・ネットワークづくり業務を中心とした受託です。今年度については、2名態勢で取り組んでいます。
- ② 昨年からはフードバンクかながわから休眠預金活用事業に係る調査研究を受託しています。受託内容は、主に食品提供団体へのアンケート調査・分析、報告書作成などです。

(2) 生活クラブ生協（ユニオン）からの事務局業務の受託

デポの拠点機能を高めるための活動事務局の受託を、7月から取り組んでいます。組合員によるアソシエーションづくりの相談・伴走支援を行っています。

(3) 遺贈寄付相談と遺贈・終活寄付に向けた取組み

- 生活クラブ、福祉クラブ、神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会、ワーカーズ・コレクティブ協会、女性・市民コミュニティバンク、WE21 ジャパン、地球の木とともに、2019年8月に「遺贈寄付相談・市民ネット運営委員会」を立ち上げました。財団が相談窓口機能を担っています。今年度

は、7月と3月に運営委員会を、8月と12月に相続セミナーを開催しました。相続セミナーは参加者・相談者が増えています。

- ・ 財団の取り組みとしては、遺贈・終活寄付を二つの基金～「子どもの貧困にたちむかう市民活動応援基金」と「冠基金」～で受け入れています。
- ・ 「子どもの貧困にたちむかう市民活動応援基金」のこれまでの寄付原資を基に、子どもの貧困にたちむかう市民活動応援（第1次）に取り組みました。
- ・ また、初めての遺贈による「冠基金」として（仮称）鈴木健一メモリアル基金（130万円）を設置しました。

4) 広報発行业務（公益目的事業4）

- (1) 「ユーコープ子ども食堂・地域食堂応援助成（福祉たすけあい基金 book 増刊）」の発行
 - ・ 6月に700部発行し、ユーコープ（300部）や市民基金関係者に配布し配布しました。
- (2) 「生活クラブソーシャルインクルーシブ助成（福祉たすけあい基金 book 増刊）」の発行
 - ・ 8月に800部発行し、生活クラブの各組織や市民基金関係者に配布しました。
- (3) 「福祉たすけあい基金 B o o k」の発行
 - ・ 第17期及び第18期福祉たすけあい基金の助成団体紹介のためのブックレットの作成を1月に1,000部発行し、生活クラブの各組織や市民基金関係者に配布しました。
- (4) 「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成（福祉たすけあい基金 book 増刊）」の発行
 - ・ 1月に500部発行し、生活クラブの各組織や市民基金関係者に配布しました。
- (5) 「福祉たすけあい基金レポート」の発行
 - ・ 生活クラブ組合員向けに活動報告を作成しコモンズ組合員全員に配布しました。
 - ・ 生活クラブユニオン共済たすけあい委員会発行のニュース「福祉たすけあい基金に参加しましょう」と同じ7月と11月（配布週は異なる）に組合員に届けたことや地域生協独自のキャンペーンなどにより、8月の新規参加数は88名となりました。
- (6) ホームページの一部改良
 - ・ ワーコレほっとリンクへの作業の委託を継続してタイムリーな情報発信を行いました。
 - ・ 今年度はホーム画面の全面リニューアルを実施しました。
- (7) ニュースレターの発行とメールマガジンの配信
 - ・ 2019年の10月より、新たな広報の手段として、市民基金ニュースレターの作成を行い、毎月1回発行しました。
 - ・ メールマガジンの登録が1,100名を越えました。ニュースレターによる定期配信と募集情報などの臨時配信を行いました。また、今年度は、研究会やイベントなどの臨時配信も行いました。
- (8) 年次報告書の作成
 - ・ 2021年度年次報告書を作成し関連団体や賛助会員へ配布しました。

5) ポスト・コロナの市民連帯を展望する研究会

(1) 研究会設置の趣旨

ポスト・コロナ時代の中間支援組織のあり方について検討するための研究会を昨年7月に立ち上げました。県内外の中間支援組織のリーダー及び外部有識者をゲストスピーカーとして招き、ポスト・コロナの市民連帯というテーマでお話いただき、参加者によるディスカッションを行っています。

昨年に5回、今年度に入って2回の研究会を開催しました。

●2022 年度開催記録 第 6 回～7 回

回・開催日	テーマ	講師	参加者
第 6 回 4 月 16 日	横浜寿町における福祉のまちづくりのチャレンジ —簡易宿泊所住民の金銭管理支援とデイサービス事業のたちあげ—	鳴海美和子さん ワーカーズコープ神奈川本部事務局 長	33 名
第 7 回 7 月 16 日	「生きる・暮らす・働く」を支えるコモンズをどう創り、担い、広げるのか —連帯経済の役割—	田中夏子さん イタリア協同組合研究者/農業者	37 名

<参考>2021 年度開催記録 第 1 回～5 回

回・開催日	テーマ	講師	参加者
第 1 回 7 月 31 日	社会的連帯経済はいかにして発展可能か ～韓国ソウルの事例を中心に～	藤井敦史さん 立教大学教授	33 名
第 2 回 9 月 11 日	座間就労準備支援事業の実践を通してポスト・コロナの市民連帯を展望する	岡田百合子さん NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ協会 副理事長	39 名
第 3 回 10 月 2 日	コロナ禍のフードバンク運動の実績と展望	藤田誠さん フードバンクかながわ事務局長 荻原妙子さん 市民基金地域活動連携コーディネーター	43 名
第 4 回 10 月 30 日	ネットワーク型市民活動支援組織のかたち～休眠預金活用制度における取組から	小林幸治さん NPO 法人まちぼっと理事・事務局長	28 名
第 5 回 11 月 20 日	コロナ禍で横浜市社会福祉協議会が取り組んだ生活困窮者支援と地域共生に向けた取組	池田誠司さん 横浜市社会福祉協議会 地域活動部長	25 名

(2) 報告書のとりまとめ

2023 年 6 月を目途に、全 7 回の活動報告書（データ版）を取りまとめる予定です。

6) 事業指定プログラムのあり方検討

2020 年以来休止している事業指定プログラムの今後のあり方の検討を計画しましたが、実施できませんでした。2023 年度に設置する、10 年の総括・中期計画策定のためのプロジェクトで検討することとします。

3. 法人運営

1) 機関会議運営

(1) 理事会

・定例理事会を 5 月、7 月、9 月に、臨時理事会を 6 月にオンライン併用で開催しました。各理事会の主な議決事項は以下の通りです。

	主な議決事項
第 1 回 (5 月度理事会) 5 月 21 日開催	①2020 年度定時評議員会議案の決定 ②居場所ツアー実施計画の承認 ③選考委員並びに選考部会メンバーの承認
第 1 回臨時 6 月 4 日開催	①副理事長の選任 ②2023 年度定時評議員会日程の決定

第2回 (7月度理事会) 7月17日開催	①オーダーメイドプログラムJA横浜子どもの未来支援助成の取組み ②生活クラブとの「デポー活用新機能スタートアップ活動の運営に関する業務委託契約」の締結 ③経理に関する規程の制定
第3回 (9月度理事会) 9月11日開催	①第18期福祉たすけあい基金選考結果の承認 ②子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成選考結果の承認 ③福祉たすけあい基金第19期(第8期スタート助成)実施計画・募集要項の承認 ④2022年度下期助成事業の進め方 ⑤基金レポート(2022年冬号)の発行計画と予算の承認
第4回 (11月度理事会) 11月19日開催	①2022年度上期事業報告・決算の承認並びに下期対策 ②ユーコープ子ども食堂応援助成・地域食堂応援助成団体の承認 ③オーダーメイド助成プログラム「生活クラブソーシャルインクルーシブ助成」実施計画の承認 ④福祉たすけあい基金取組み組合員への領収書発行等に係る予算の承認 ④遺贈寄付プログラム「鈴木健一メモリアル基金」の設置
第5回 (1月度理事会) 1月21日開催	①2023年度事業計画(一次討議) ②2022年度第1回臨時評議員会開催要領並びに議案の決定 ③2023年度年間会議日程 ④理事候補者推薦委員会の設置 ⑤選考委員の辞任に伴う対応の承認 ⑥JA横浜子どもの未来支援助成・募集期間延長
第6回 (3月度理事会) 1月11日開催	①2022年度臨時評議員会議案の決定 ②第19期福祉たすけあい基金選考結果の承認 ③生活クラブソーシャルインクルーシブ助成選考結果の承認 ④JA横浜子どもの未来支援助成選考結果の承認 ⑤第20期福祉たすけあい基金募集要項並びにチャートの承認 ⑥「地域の学び場支援助成(子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成第2期)」 ⑦福祉たすけあい基金贈呈式の開催方針

(2) 定時評議員会の開催

- ・6月4日に定時評議員会を開催し、2021年度事業・活動報告並びに決算書を承認しました。
- ・また、役員の新補充選出が行われ、理事6名、評議員7名が選任されました。

(3) 参加状況

- ・理事会

	5月度定例	6月度臨時	7月度定例	9月度定例	11月度定例	1月度定例	3月度定例
理事	19/23	18/23	19/23	17/23	16/23	17/23	17/23
監事	3/3	2/3	2/3	3/3	3/3	2/3	2/3

- ・評議員会

	定時評議員会(6月)	臨時評議員会
評議員	15/26	19/26